

第 35 回 BCP 維持管理研究会議事録

1. 開催日時： 2013 年 7 月 18 日(木) 17:00-19:00
2. 場所： BCAO 神田オフィス
3. 参加者： 深谷純子(書記)、中谷明男、田中弘明、小田浩史、澤田信人、竹中雅英、篠原光男、菅谷豊、中野裕之、佐藤栄治 (敬称略 10名)
4. 議事内容
 - (1) BCP 用語「サプライチェーンマネジメント」に関する意見交換
 - ・ 情報システムのサプライチェーンが注目されている
 - ・ 背景には、クラウドサービスで、複数社のサービスを組み合わせて提供しているケースがある
 - ・ ISO27017,ISO27018 セキュリティのクラウド系の規定が 2015 年に公開予定
 - ・ 購買先を特定しない、入札や都度購入先を選定する柔軟な取引が、BCP ともいえる
 - ・ 製品を標準化し調達しやすくする。代替がないものを減らす
 - ・ 平時の SCM はコスト、納期を重視し、有事の SCM はコストではない
 - ・ 供給責任を果たすために、自社被災時に代替品を購入ひて納品した事例あり
 - ・ 顧客を逃がさないための BCP
 - ・ 八王子と岡谷では、産業構造が似ているため自治体が相互バックアップ(お互いさま)を進めている
 - ・ このスキームは、被災時だけでなく需要が急に高まった時にも活用可(ポジティブリスクへの対応)
 - ・ ロジスティクスを各社バラバラではなく、集めて 1 社が運ぶ事例あり
 - ・ 製品のランク付例 : ランク A は代替品なしのため BCP を指導、ランク B は代替品があり
 - (2) 被災時に収集する情報についての意見交換 (先月からの継続)
 - ・ どういう情報をつめるか?
 - ・ どこから集めるか?
 - ・ どのようにして収集するのか?
 - ・ 誰が、誰から収集するのか?
 - ・ 何のために収集して、何に使うのか? など

 - ・ 時間軸で収集する情報に変化する。いつ収集するかを検討する
 - ・ 何時間以内に収集するか
 - ・ スポットで使う情報 (時間がたてば意味がない)
 - ・ 傾向をみるための情報 (被災後に活用)
 - ・ 情報収集の目的を明確にする
 - ・ 噂でも重要な場合がある
 - ・ 情報の選別が重要。活用情報(使える情報)を選別
5. 次回開催
2013 年 9 月 26 日 (木) 17:00~19:00
場所は追って連絡